



放課後等デイサービス

ひみつきち

健康・生活

年齢が上がるにつれ、身体にも変化が起き、心に起きる葛藤が難しくなります。頭ではどうすべきか分かっているのに、プライドや不安など、複雑な気持ちに混乱して行動に移せない時、

- ・相手の気持ちを想像する。
- ・悪かったこと、良かった事の振り返りをする。
- ・玩具や道具を大切に使用することで物の大切さを学ぶ。

感情を客観視してコントロールする練習をします。



運動・感覚

集団遊びや、運動遊びを通して、日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や上肢・下肢の運動・動作の改善及び習得を目指し、

緊張・弛緩など、体のコントロールをする練習をします。体の動きをコントロールできると、気持ちや感情のコントロールにも役立ちます。また、体感や様々な感触に触れ、感覚の成長を支援します。



人間関係・社会性

ソーシャルスキルの習得を目指します。ソーシャルスキルとは、対人関係における目標を達成するために、適切かつ有効な技巧・行動・思考の総称を意味します。「やって良かった」「楽しい」と感じられるように良い体験をし、集団での活動や、友達との関りを通して実践的に学び身につけます。

挨拶・ルール・マナー・礼儀・感謝・謝罪・などの社会生活で活躍するスキルを身に付けます。友人・上下・利害・同盟・協力・対立・など、集団で発生する様々な人間関係において、相手も自分も大切にしたい行動を選択できるように、一緒に考えます。



小学校～高校生までの

お子様を対象に

挨拶ができる・時間が守れる・

指示に従った行動が取れる。

自立するまでに身に着きたいス

キルと個別支援計画(5領域)

に沿った課題設定を行っています。

言語・コミュニケーション

要求・報告・聴く・模倣・観察など、自分も周りも大切にすることを学びます。言葉だけでなく、ジェスチャーやカード等子どもに合った方法を一緒に考えます。

暴力や、暴言など社会的に不適切とされる行動も、子どもにとっての何らかの問題に対処している行動と捉える事ができます。どんな問題に対処しようとしているのか、丁寧に観察しつつ社会的にも適切な行動を考え工夫し、支援します。



認知・行動力

着席・大人の行動をよく見る・話を聞く・嫌なことへも頑張ってみる・等、課題に向かう学習の姿勢を支援します。

「頑張ってたかった」と感じるような関わり方や内容を工夫します。また、情報を適切に処理、コミュニケーションの難しさから生じる行動の予防方法を考えます。また、何も無い暇な時間が辛く感じるお子さんもいます。待つ時間や余暇の過ごし方を一緒に考えます。

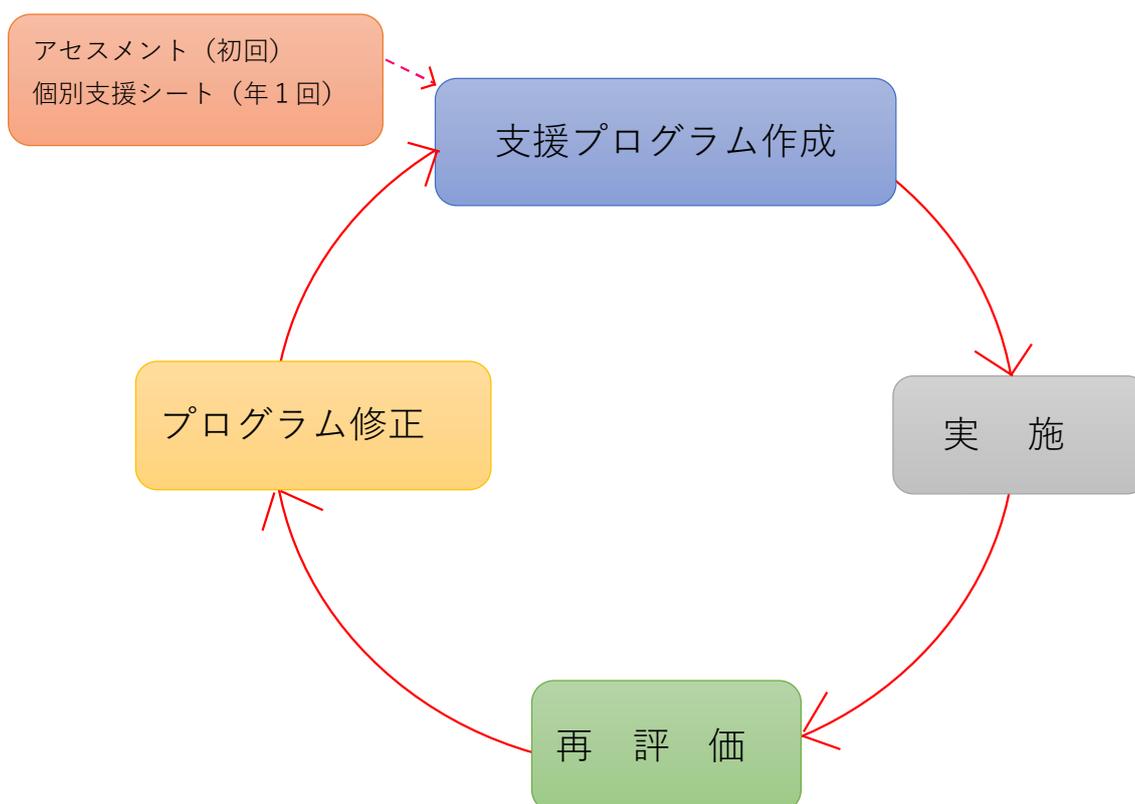


放課後等デイサービスひみつきち 支援プログラム



①大まかな流れ

『PDCAサイクル』と呼ばれる「PLAN（計画）」「DO（実行）」「CHECK（測定・評価）」「ACTION（改善・対策）」の流れを行います。



②アセスメント（評価・査定）

お子様の状況、状態を把握いたします。保護者様および相談員からの聞き取り、状況に応じたお子様からの聞き取り、職員によるお子様の直接観察、学校などの関係機関からの聞き取りなどから得られる情報をもとに実施します。

放課後等デイサービスひみつきちではサービス提供開始に伴い、アセスメントシート・個別支援シートを作成しています。

児童や保護者と面談を行い、情報収集をする際に使用する帳票です。アセスメントでは、児童や保護者の希望する生活や課題等を把握するために、児童の日常生活や学習の様子、社会性やコミュニケーション等を聞き取ります。児童が相談支援事業所を利用している場合は、相談支援事業所と連携してアセスメントを行うこととなります。

個別支援シート

記入日：令和 年 月 日

氏 名

記入者続柄

()

生年月日		学年		血液型		平 熱	
<p>※嘔吐、及び検温時37.5度以上の時、電話連絡をします。 37.5度以外の体温で連絡を希望される場合のみ、連絡を必要とされる体温と理由をご記入下さい。 感染症等に関しては、医師の指示(登校の可否)に準じます。</p>							
※	連絡を希望 される体温	(理 由)					
特別に連絡を必要とする症状 (出来るだけ具体的にお書き下さい)		(症 状)					
緊急連絡先 (優先順位)	①					続柄	
	②					続柄	
	③					続柄	
アナフィラキシーショック既往 エピペン処方 アレルギー等の有無							
てんかんの有無及び発作時の対処方法 (連絡や検温、座薬、救急車手配など具体的に)							
持 病 (持病でなくても気にしておられる 症状等があればお書き下さい)							
常 用 薬 (よく服用している薬などがあればお書き下さい)							

<p>ブログ、通信等への写真掲載 (①～⑤より選択) 日々の活動の様子を幅広く多くの方々に ご理解いただくために情報発信をしています</p>	<p>① 写真掲載を承諾する。 ② 顔が特定されない方法での写真掲載は承諾する。 ③ 集合写真であれば掲載を承諾する。 ④ ②、③の両方を承諾する。 ⑤ 写真掲載を拒否する。</p>	<p>回答</p>
<p>ひみつきちへ望まれる事 (友達との関わり、体を動かす事、工作体験、 安心して過ごせる居場所 等、お子様がより 有意義な時間を過ごせるようにお尋ねします)</p>		
<p>長所・短所・こだわりなど留意すべき事 (支援の参考にするため、指導員に知って おいて欲しいと思われる事をお書き下さい)</p>		
<p>好きな事 (好きなキャラクター、芸能人、歌手、おやつ、 遊び、食べ物 等なんでも)</p>		
<p>苦手な事 (大きな音、暗い場所、動物、昆虫、食べ物など具 体的に)</p>		
<p>公園遊びについて (天気の良いには、希望を聞きながら安全に楽しく 外遊びをするために何点かお聞きします)</p>	<p>本人の希望があれば外遊び(公園)へ出かけても良いですか？ (O、×でお答え下さい)</p>	
	<p>(得意、好きな遊具・遊び)</p>	
	<p>(苦手、利用させないで欲しい遊具・遊び)</p>	
<p>家族構成 (会話の参考にします)</p>		
<p>相談支援事業所</p>	<p>担当者名</p>	
<p>他の利用しているサービス (事業所名・利用頻度)、習い事</p>		

アセスメントシート

児童氏名		記録者	
------	--	-----	--

●日常生活について

項目	確認内容	備考
食事	全介助 ・ 一部介助 ・ 自立	
衣類の着脱	全介助 ・ 一部介助 ・ 自立	
排泄	全介助 ・ 一部介助 ・ 自立	
入浴	全介助 ・ 一部介助 ・ 自立	
睡眠	全介助 ・ 一部介助 ・ 自立	
スケジュール管理		

●学習面について

項目	確認内容	備考
在籍学級	通常学級 ・ 支援学級 ・ 併用 ・ その他（支援学校）	
授業中の様子		

●社会性について

項目	確認内容
状況理解	
環境適応	
友達との関わり	
公共の場での行動	

●コミュニケーションについて

項目	確認内容
自分から話す	
相手の話を聴く	

●余暇について

項目	確認内容
趣味・好きな遊び	
習い事等	

●進路について

項目	確認内容	備考
家族	地域中 ・ 支援学校 ・ 検討中	
本人	地域中 ・ 支援学校 ・ 検討中	

●その他、支援に関わる特記事項

例：スケジュールは丁寧に伝えてほしい(理由も含む)・送迎を利用したいか否か等

③個別支援計画書の作成

アセスメントに応じ、それぞれの状況や課題に合わせて支援方法、内容を選択します。支援方法は大きく①小集団支援（放課後等デイサービス）、②職員1～2名程度対お子様1名の個別支援（特別支援）の2種類に分けられます。これらを組み合わせながら、お子様に最も効果的な方法を検討します。アセスメントに基づき、個別支援計画を作成します。個別支援計画は保護者様に説明し、同意を得て実施します。

個別支援計画記入例

作成年月日： 年 月 日

利用児氏名： ○○ ○○様

個別支援計画書

計画期間： 年 月 日～ 年 月 日

利用児及び家族の生活に対する意向	ご本人：僕のお友達と楽しくしたい。 ご家族：色々なお友達と良い関係性が築け、楽しく過ごして欲しい。	
総合的な支援の方針	成長や発達に合った支援を受け、お友達と一緒に活動できるようになる。 災害時は、災害時対応マニュアルに準じて対応します。詳細はホームページに掲載しています。	
長期目標 (内容・期間等)	ひみつちのお友達との関わりの中で、自身の思いを伝えるだけでなく相手の気持ちを想像し譲る事を覚えることで、安心して楽しく遊べるように過ごす。	支援の標準的な提供時間等 (曜日・頻度・時間)
短期目標 (内容・期間等)	沢山のお友達との関わりを持って、遊びのルールを覚えながら安心して楽しく過ごす。	月、火、水、木、金曜日、週に5日間を基本とし、放課後、月、火、水、木、金曜日は2時間25分、(別紙2、3を参照)

○支援目標及び具体的な支援内容等

項目	支援目標 (具体的な到達目標)	支援内容 (内容・支援の提供上のポイント・5領域(※)との関連性等)	達成 時期	担当者 提供機関	留意事項 (本人の役割を含む)	優先 順位
本人支援	特定以外のお友達との関りが少なく、様々なお友達の気持ちが想像がしにくい、自身の思いを伝えるだけでなく相手の気持ちを想像し譲る事を覚えることで、安心して楽しく遊べるように過ごす。	お友達に自身の思いを伝えるばかりで、意に反した時などに暴言暴力が出てトラブルとなる場面があり、その様な時にはスタッフが間に入り、お友達との距離を取りながら本人の思いを傾聴し、お友達の思いや気持ちを想像する様に伝えることで、少しずつ相手の気持ちや思いを想像し譲ることを覚えることで、上手くコミュニケーションが出来るように支援します。	6か月	放課後等デイサービスひみつちスタッフ	本人の意思を尊重しながら、遊びの中の様々な場面において相手の気持ちを考えるように声掛けをし、気持ちの切り替えが難しいとスタッフが判断した場合は、良かったこと悪かったことを一緒に考えながら、クールダウン出来る時間を設け、落ち着いたのち遊びを再開する。	1
本人支援	お友達との関りの中で、距離間を考えながら楽しく身体を動かして遊ぶ。	友達との運動遊びで、自らの思いを一方向的に伝えるのではなく、お友達の思いを想像しながら過度な距離で遊ぶようにしたり、様々な創作活動に参加することで経験を増やし、お友達と安心して楽しく過ごせるように支援していきます。				2
本人支援	基本使った玩具の片付けは出来るが、お友達と一緒に遊びで使った玩具などの片付けや、玩具を大切に使うことが難しく、玩具を大切に使い片付けができるようになる。	遊んでいる様子を伺いながら、玩具を粗末に扱っている場合は、皆が使う玩具であることを伝え、玩具を大切にしながら遊べるように支援します。また、お友達と一緒に使った玩具の片付けが難しい時などは、スタッフからご本人とお友達に声を掛け、一緒に片付けることで玩具の片付けが行えるように支援します。				3
家族支援 ・ 移行支援	保護者様との面談の時間を6か月1回設け、当所での様子を丁寧に伝える。	・計画の見直し時期に合わせて、面談希望の可否を書面で確認、面談時には、ひみつちでの様子を伝えるとともに、家庭での様子を聞き取り、情報交換をするともに保護者様への心配事への助言を行います。 ・進路や移行先の選択についての本人や家族への相談援助や移行に向けての様々な準備の支援。	6か月	放課後等デイサービスひみつちスタッフ	保護者様の悩み本質を理解できるようにサポートする。	-
送迎・延長支援	送迎・延長支援を行う。	保護者の就労と母親のレスパイトのため、就労等に影響しないようレスパイトを含め必要に応じて延長支援を行う。送迎は希望に応じて行い、ご家庭、学校と連絡を密にとり、予定変更の確認に気を付けるなど、時間や場所の関連がないように行います。	-	放課後等デイサービスひみつちスタッフ	学校の先生に日頃の様子を確認し、気になる言動があれば、スタッフ、ご家庭と共有できるようにする。	-
地域支援 ・ 地域連携	関係機関で役割分担を行うとともに、それぞれの機関で得られた情報を共有し、日常生活や支援に活用するための具体策を提案する。	・各関係機関(学校)からの情報に基づき、具体的な場面での子どもとの関わり方の提案や、関わり方のポイントについて助言を行う。	6か月	放課後等デイサービスひみつちスタッフ・学校の先生	学校へお迎え時に、先生より学校での様子を確認し、気になる言動行動があれば、関係機関(学校)と連携会議を開催する。	-

※5領域の視点「健康・生活」、「運動・感覚」、「認知・行動」、「言語・コミュニケーション」、「人間関係・社会性」

提供する支援内容について、本計画書に基づき説明しました。

本計画書に基づき支援の説明を受け、内容に同意しました。

年 月 日 児童発達支援管理責任者氏名： 古川 晴次 年 月 日 (保護者署名)

④支援の実施

支援内容は、お子様の発達に合わせ、課題を設定します。小集団、個別それぞれに課題に取り組む時間を作ります。集団の活動内では、達成基準をお子様に合わせて、出来ることから徐々に広げられる様に関わります。

⑤再評価

個別支援計画で作成した目標が、どの程度達成されたかを評価を行います。評価は児童発達支援管理責任者及び、実務対応している職員全員で評価を行います。職員が考える達成度合について、支援目標に対して達成できたか、できなかったかを客観性が確保できるように留意し、評価した結果から児童発達支援管理責任者が個別支援計画を修正します。

評価(モニタリング)の結果、修正した個別支援計画については、再度保護者様に説明し同意を得ます。同意を得て職員の支援に反映させます。